

公益社団法人日本監査役協会 専務理事・事務局長交代のお知らせ

去る11月11日に開催した第48回定時会員総会の終結をもって、大野和人専務理事・事務局長が退任し、同総会後に開催された第223回理事会において、後藤敏文会長が専務理事・事務局長に就任いたしました。

前専務理事・事務局長 大野 和人 退任の挨拶



この度専務理事を退任いたしました。この間、会員の皆様、諸先生方及び関係する皆様には多大な御支援と御指導を賜り、誠にありがとうございました。

コロナ禍という未曾有の災禍の中、当協会の活動も大きく制限を受け、研修会、監査役全国会議、実務部会等において会場開催が困難な状態が続きましたこと、お詫び申し上げます。

一方でオンライン手法を活用し、監査役全国会議その他諸事業が実施できました。良い面も多く、今後も実開催と併用していけば、一層の充実が可能と考えます。

コロナ禍は監査役等の任務にも大きな影響を与えており、当協会ではコロナ禍における監査活動の状況や課題の調査・分析を行って、研究報告書として公表する運びとなりました。これら当協会の公表物は、アンケート調査等への会員の皆様の御協力なしではなし得ません。改めて感謝申し上げます。

今年は、会社法の改正やコーポレートガバナンス・コードの改訂、監査上の主要な検討事項（KAM）の導入等があり、監査役監査基準等の改定作業を進めました。今後も監査役等の役割はますます大きくなっていくと思います。当協会が会員の皆様に一層の貢献ができるよう祈念いたします。

末筆ながら皆様の御健勝とますますの御活躍をお祈り申し上げます。

新専務理事・事務局長 後藤 敏文 就任の挨拶

この度、専務理事・事務局長を拝命いたしました、後藤敏文です。常任理事として2年間、会長として2年間、監査役協会の事業遂行に携わってまいりましたが、今回、また異なる立場から協会の運営に携わることとなり、身の引き締まる思いです。



特に会長就任後は、コロナ禍に突入したことから、各種会合が中止となり、私自身、会員の皆様の声に直接触れる機会が減少してしまったことや、様々な活動上の制約から、協会活動全体のサービス品質低下が懸念されましたが、会員の皆様の多大な御協力や、事務局によるオンライン対応等により、現状では、各種活動において、オンラインと実開催を融合したハイブリッド型の運営が円滑になされるようになりました。

また、会員数もコロナ禍の下にありながら、順調に増加しつつあります。

今日の協会の運営体制は、図らずも昨今のDXや働き方改革に即した在り方に収斂しつつありますが、今後もこの流れを止めることなく、社会の要請に沿って、より柔軟で効率的な運営を推し進めるとともに、会員の皆様のニーズに応え、監査役等を取り巻く環境の変化にも的確に対応できる協会活動としていきたいと考えております。

何とぞ御指導御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

後藤 敏文 専務理事・事務局長の略歴

1982年三菱重工業株式会社 入社、2014年本社総務法務部長、17年取締役 常勤監査等委員、21年6月退任。
17年～19年日本監査役協会 監査等委員会実務研究会幹事、19年～21年会長、21年11月専務理事（現任）。
